

令和6年度のSDGsに関する取組について



令和6年3月28日
沖縄県企画部
企画調整課SDGs推進室

(1) 令和5年度の取組について (概要)

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

目標「安全・安心で幸福が実現できる島」の形成

(社会・経済・環境の三側面が調和した「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」を目指す)

沖縄県SDGs実施指針

多様な主体と一緒にSDGsを推進する際の基本的な考え方等

【沖縄らしい基本理念】

平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い
誰一人取り残さない、持続可能な「美ら島」沖縄

おきなわSDGsアクションプラン

多様な主体と一緒にSDGsを推進するための目標や指標等を設定
12の「優先課題」のもと、39の「SDGs推進の目標」、
59の「ローカル指標」、「実現に向けたアクション」等を記載

全県的なSDGsの展開

1 多様な主体の参画と連携

様々な団体や個人の情報共有や交流・連携等を支援する
「おきなわSDGsプラットフォーム」を運営。

(登録数 R5.3月 1,204会員 → R6.1月 1,465会員)

- ・ポータルサイトにおける会員等の情報発信・共有
- ・ラジオ番組と連携した会員の取組事例の発信 (12回)
- ・会員と連携した県民参加型イベントの開催 (3件)
- ・個別分野のセミナーの開催 (4回)
- ・会員等の交流イベントの開催 (4回)
- ・会員提案によるプロジェクトチーム設置 (R5.11月募集開始)

2 企業・団体の取組の見える化

「おきなわSDGsパートナー」登録制度

登録団体 R5.3月 850団体 → R6.1月 935団体

「おきなわSDGsプラチナパートナー」認証制度

R5年度新設 (年1回認証) R5年度認証 11団体

3 総合的な施策展開

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、
様々な分野の施策を総合的に展開。

4 普及啓発

県の広報誌、広報番組等を通じた情報発信
出前講座、各種講演会などへの講師派遣
県・市町村の職員向け研修、その他研修
他団体と連携した普及啓発

- ・SDGsフォトコンテスト (JICA沖縄)
- ・SDGs QUEST みらい甲子園 (実行委員会、RBC) 等

5 モニタリング

年次報告書 (モニタリング報告書) の公表
ステークホルダーが参加したモニタリング実施
(SDGsアドバイザリーボード会議、SDGs専門部会)

(2) 令和5年度の取組事例について

おきなわSDGs認証制度 (おきなわSDGsプラチナパートナー認証制度)

「おきなわSDGsパートナー」登録制度からステップアップした精度として、経済・社会・環境の3つの分野を意識した経営を実践する企業・団体等を認証する制度を令和5年度に創設しました。

認証にあたっては、社会、環境、ガバナンス等の視点から現状の経営内容を評価する「実績評価」とおきなわSDGsアクションプラン紐付けた今後の団体の取組内容を評価する「主要評価」の2つの視点から評価を行い、認証を決定しています。都道府県では実施例は少なく、今後の取組を評価する制度する本制度は新しい取組となっています。

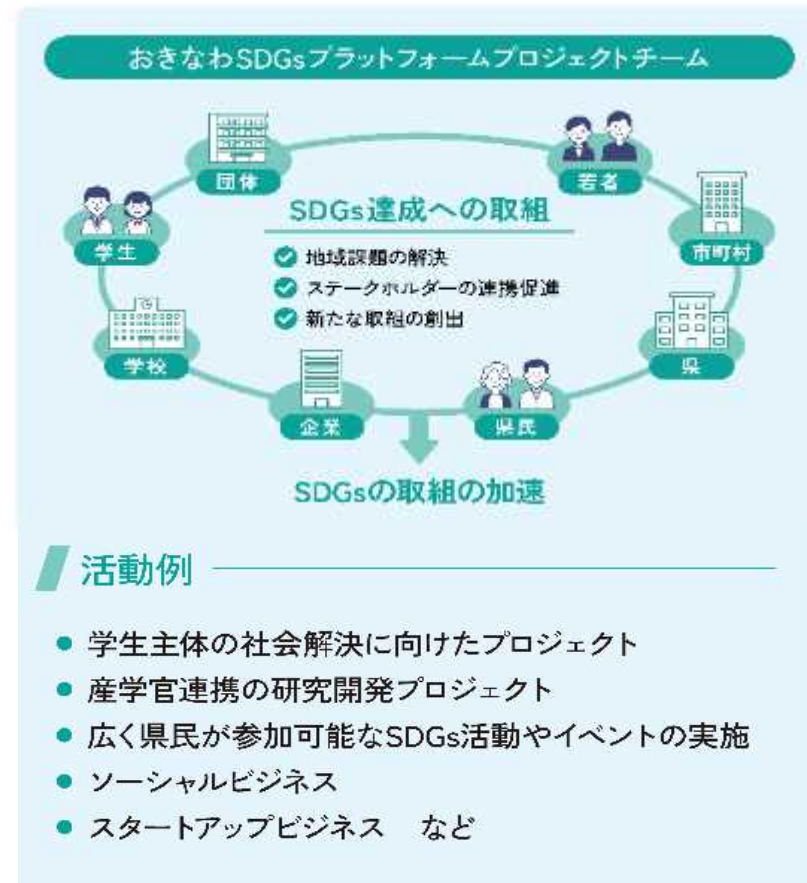


令和5年度は26件の応募があり、11団体を認証しました。
(以下、認証団体 ※順番は申請順)

1. 一般財団法人沖縄県環境科学センター
2. 株式会社福地組
3. 株式会社那覇電工
4. 日本トランスオーシャン航空株式会社
5. 株式会社セブニーイレブン・沖縄
6. 沖縄ツーリスト株式会社
7. 株式会社沖縄海邦銀行
8. 株式会社大成ホーム
9. 株式会社青い海
10. 大同火災海上保険株式会社
11. 株式会社oki.com

おきなわSDGsプラットフォーム プロジェクトチーム

「おきなわSDGsプラットフォーム」内に、地域課題の解決に寄与する具体的な取組を行うプロジェクトチームを設置する仕組みを構築しました。プラットフォーム会員の提案に対して多様な主体が参画する予定です。令和5年11月から募集を開始しています。



(3) 令和5年度の取組事例について

県民参加型イベント「みんなでSDGs！」

国連総会（国連SDGサミット）の開催時期（9月）に合わせ、おきなわSDGsプラットフォーム会員と連携した県民参加型イベント（みんなでSDGs!）を開催しました。

① 沖縄まるごとゴミ拾い

（沖縄まるごとゴミ拾い実行委員会）

参加者数：延べ1,194人

袋の数：1,160袋

県内41団体が連携して、本島及び離島の各地においてクリーン活動を実施しました。



② 水辺の緑化活動～街なかの水辺と人の暮らし～

（特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ）

参加者数：20人

干潟等の自然観察や環境学習と合わせた自然環境再生の体験を行いました。



③ エシカル消費と温暖化対策

（琉球大学エコロジカル・キャンパス学生実行委員会）

参加者数：436人

琉大祭において、自家発電やリサイクル等の情報発信、フードバンクの実施などを行いました。



SDGs フォトコンテスト

JICA沖縄において「おきなわ国際協力・交流フェスティバル」の一環として、SDGsフォトコンテストを実施しています（共催：沖縄県、浦添市）。

SDGsの取組や風景・場面等を写真とメッセージで表現した作品を募集し、JICA沖縄所長賞、沖縄県知事賞、浦添市長賞の他、優秀賞、準優良賞が選定されています。

JICA沖縄
所長賞



浦添
市長賞



沖縄県知事賞



SDGs Quest みらい甲子園

主催：SDGs QUEST甲子園沖縄県実行委員会 共催：琉球放送

沖縄県内の高校生を対象に社会課題解決のアイデアコンテストを実施しています。地方大会は各地で開催されており、最優秀チームは全国の高校生との交流会等に参加しています。



(4) 令和6年度の取組について

令和6年度における取組の方向性について

- ◆「おきなわSDGsプラットフォーム」の機能を活用し、引き続き、多様な主体の参画や情報共有、連携の促進を図る。
- ◆令和5年度に創設した認証制度やプロジェクトチームの仕組みについては、活用促進に向けて取り組む。
- ◆引き続き、SDGsに関する施策を総合的に推進するとともに、認知度向上に向けた普及啓発に取り組む。
- ◆SDGs全国フォーラムを沖縄県にて開催する。

全県的なSDGsの展開に向けた取組（予定）

1 多様な主体の参画と連携

様々な団体や個人の情報共有や交流・連携等を支援する「おきなわSDGsプラットフォーム」を運営。

- ・ポータルサイトにおける会員等の情報発信・共有
- ・ラジオ番組と連携した会員の取組事例の発信
- ・会員と連携した県民参加型イベントの開催
- ・個別分野のセミナーの開催
- ・会員等の交流イベントの開催
- ・会員提案によるプロジェクトチーム設置

2 企業・団体の取組の見える化

「おきなわSDGsパートナー」登録制度
「おきなわSDGsプラチナパートナー」認証制度

3 総合的な施策展開

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、様々な分野の施策を総合的に展開。

4 普及啓発

県の広報誌、広報番組等を通じた情報発信
出前講座、各種講演会などへの講師派遣
職員向け研修
他団体と連携した普及啓発 等

5 モニタリング

年次報告書（モニタリング報告書）の公表
ステークホルダーが参加したモニタリング実施
（SDGsアドバイザーボード会議、SDGs専門部会）

(5) SDGs全国フォーラムについて

1. 開催趣旨等

SDGsの推進による地域課題の解決や地方創生の実現を目指し、官民連携などのパートナーシップの促進、次世代からはメッセージ発信など、全国に発信する機会として開催されている。

これまで「SDGs未来都市」に選定された都道府県が主催して開催してきている。

〈これまでの開催県〉

2018年度 神奈川県（現地開催）

2020年度 長野県（オンライン開催）

2022年度 滋賀県（ハイブリッド開催）

2. 開催概要

セッション3つ程度のパネルディスカッションで構成されるシンポジウム

参加者想定 県内外の関係者

（一般、企業・団体、行政、教育機関等）

会場参加想定 約300名

オンライン参加想定 約1,000名

開催時期 令和6年12月頃を想定

別途、関連イベント開催を検討中



SDGs全国フォーラム2019 開催状況
出典：SDGs全国フォーラム2019 Summary Report（神奈川県）



次世代メッセージの発信（SDGs全国フォーラム2022）
出典：SDGs全国フォーラム2022 開催レポート（滋賀県）